



## お知らせ

記者発表資料	令和5年3月30日
配布日時	14:00

### 【同時発表先】

中国地方建設記者クラブ、港湾新聞、港湾空港タイムス、日本海事新聞

## 令和5年度 入札・契約制度等に関する説明会（港湾空港関係）を開催します

中国地方整備局 港湾空港部では、入札・契約手続きの透明性・公平性の確保、技術力が十分に発揮できる競争環境の確保及び手続きにおける受発注者双方の負担軽減を図ること等を目的として、令和5年度より、入札・契約制度の一部を見直すこととしました。

つきましては、以下のとおり、入札・契約制度等に関する説明会（オンライン形式によるWEB説明会）を開催しますのでお知らせします。

### 1 工事に関する説明会

日時：令和5年4月10日（月）13:30～15:00

内容：①令和4年度 入札・契約状況について

②令和5年度 入札・契約の対応方針について

③令和5年度 港湾整備事業実施における取組みについて

④質疑応答

### 2 業務に関する説明会

日時：令和5年4月10日（月）16:00～16:45

内容：①令和4年度 入札・契約状況について

②令和5年度 入札・契約の対応方針について

③令和5年度 港湾整備事業実施における取組みについて

④質疑応答

なお、説明会用資料は、中国地方整備局港湾空港部インターネットホームページ

(<https://www.pa.cgr.mlit.go.jp/keiyaku/hinshitsu.html>) に令和5年3月30日

(木) より随時掲載する予定です。

【申込み方法】別紙のとおり。

【主な見直し内容】別添（参考1～4）のとおり。

### <問い合わせ先>

中国地方整備局 港湾空港部 品質確保室 TEL:082-511-3927(直通)(平日・昼間)

室長 中島 剛 (なかしま つよし)

課長補佐 久保 和徳(くぼ とものり)



本説明会は、参加者の移動負担軽減の観点から、WEB 会議システム（Microsoft Teams）を使用したオンライン形式にて開催いたします。

申込み方法：本説明会に参加を希望される方は、以下の必要事項を記載のうえ、電子メールにてお申し込みください。

必要事項：入札・契約制度等に関する説明会（港湾空港関係）への参加を希望する旨

- ① 所属
- ② 氏名（ふりがな）（1 アカウントで複数の方が視聴する場合は代表者）
- ③ 連絡先（電話番号及びメールアドレス）
- ④ （1 アカウントで複数の方が視聴する場合のみ）視聴予定人数
- ⑤ 参加希望の説明会（1. 工事、2. 業務）

※①②：WEB 視聴時に、参加者名を入力して頂く際に、使用予定です。

※③：WEB 視聴用の URL の連絡に使用します。

申し込み宛先：[pa.cgr-setsumeikai@mlit.go.jp](mailto:pa.cgr-setsumeikai@mlit.go.jp)

申込期限：令和5年4月6日（木）12：00まで

参加方法：上記の必要事項③で記載いただいた電子メールアドレス宛に事務局より、電子メールにて WEB 視聴用の URL をご連絡します。

WEB 視聴時には、上記①と②を入力して、ご参加頂く予定です。

詳細は、上記 URL の送付時に、ご連絡します。

備考：通信状況によって、一時的な映像や音声の乱れが発生する場合があります。また、通信の負担軽減のため、同じ所属の方はなるべく1アカウントで複数の方がご視聴いただきますようお願いいたします。なお、応募アカウント多数の場合には、先着順で参加者を制限させていただく場合がありますので、予めご了承ください。



## 令和5年度 入札・契約制度等に関する説明会 (港湾空港関係：工事)

日時：令和5年4月10日（月）13:30～15:00

場所：WEB開催

### 議事次第

(案)

1. 開会
2. 挨拶
3. 説明会
  - (1) 令和4年度 入札・契約状況（工事）について
  - (2) 令和5年度 入札・契約の対応方針（工事）について
  - (3) 令和5年度 港湾整備事業実施における取組（工事）について
4. 質疑応答
5. 閉会



令和5年度 入札・契約制度等に関する説明会  
(港湾空港関係：業務)

日時：令和5年4月10日(月) 16:00～16:45

場所：WEB開催

議事次第

(案)

1. 開会
2. 挨拶
3. 説明会
  - (1) 令和4年度 入札・契約状況(業務)について
  - (2) 令和5年度 入札・契約の対応方針(業務)について
  - (3) 令和5年度 港湾整備事業実施における取組(業務)について
4. 質疑応答
5. 閉会



## 令和5年度 入札・契約の対応方針について (港湾空港関係)

### (工事)

#### ◆総合評価落札方式における評価の改善に向けた取組み

##### 1. 工事成績優秀企業認定制度の表彰(ゴールドカード制度)の評価【見直し】

これまでの評価では、評価対象期間を過去2年間としていたが、本表彰制度は、工事成績が優秀な企業を認定するもので、認定期間は1年間であることから評価対象期間を過去1年間へ見直しを行う。

##### 2. 配置予定現場技術者における潜水土資格の評価【新規】

潜水作業を行う工事において、近年、全国的に潜水作業における死亡事故が多いことから現場での安全管理能力の向上を図るため、『特別港湾潜水技士』（一級港湾潜水技士の資格取得者かつ3名以上で潜水作業をする現場で作業管理者の経験有りが受検資格）の資格を有する配置予定現場従事者（潜水作業管理者）を配置することを表明した場合、新たに加点評価する。

##### 3. 継続教育学習(CPD)の評価【見直し】

近年では、技術者不足により学習時間の確保が困難となってきた状況のため、技術提案評価型S型においてCPD評価基準を推奨ユニット(150ユニット/5年)から標準ユニット(100ユニット/5年)へ緩和する。

##### 4. 配置予定技術者の地域精通度における要件の緩和【見直し】

技術者が不足している状況を鑑み、地域精通度の評価基準(対象エリア、実績期間等)を緩和する。

##### 5. 平均成績評定点の算定方法の見直し【見直し】

近年、品質向上をはじめ様々な技術や工夫にて工事が行われてきており、平均工事成績評定点も上昇傾向となっていることから、平均工事成績評定点の評価基準を見直し、満点の基準を82.0点以上に引き上げるとともに、76.0点未満の加点を取りやめ、76.0点以上82.0点未満について評価基準を1点刻みに細分化する。また施工実績のない者への加算点や施工実績が1者の場合の評価対象の点数についても併せて見直す。

##### 6. 施工能力評価型I型(施工計画重視型)評価基準の見直し【見直し】

試行アンケート結果より、「技術提案書の作成負担の軽減となっていない」「従来の評価方法との違いが不明」等の意見を踏まえ、評価基準を『実施の適否』及び『設定した技術的所見テーマと現場条件等を踏まえた留意点及び対応方策』について、留意点及び対応方策が所見テーマに対して明確に記載され整合性が認められる所見は加点評価(○評価)し、設計図書記載相当は加点無し(-評価)とする。



## 7. 入札説明書に対する質問への回答期間の変更【見直し】

事業者の対応に必要な作業時間の確保として、入札説明書に対する質問の締め切りを、1 回目は「申請書及び確認資料及び技術提案書等」の提出期限に対して 6 営業日前、その質問への回答期限は 4 営業日前、2 回目は「入札書」の提出期限に対して 8 営業日前、その質問への回答期限は 5 営業日前に見直す。



## 令和5年度 入札・契約の対応方針について (港湾空港関係)

### (業務)

#### ◆プロポーザル方式及び総合評価落札方式における評価方法の改善に向けた取組み

##### 1. 業務成績の評価基準を細分化【見直し】

業務品質向上が期待される平均請負業務成績評定点をより反映した評価を行うため、プロポーザル方式及び総合評価落札方式による全ての業務を対象として、平均請負業務成績評定点の評価基準を見直し、65 点以上 72 点未満の加点を取りやめ、72 点以上 80 点未満について評価基準を 2 点刻みに細分化する。

##### 2. 業務チャレンジ型の評価項目の見直し【見直し】

総合評価落札方式における受注実績の少ない企業の参加意欲を引き上げて競争性を改善するため、業務チャレンジ型の過去の業務成績評定点及び表彰実績を評価項目から除外する。